法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。			
営業時間		13 時 0 分 19 時 0 分 から 19 時 0 まで	送迎実施の有無 あり なし		
		支援内容			
支援方法		個別課題	集団·小集団課題	集団·小集団課題	
	健康・生活	季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 災害時時の対応を身に着ける課題 心と身体が疲れたときの対処法を知る課題	教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動(〇〇教室ツアー、この前になにができるかな?等) 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 健康的な生活を送るための基本的生活習慣・良いルーティンを知る活動		
	運動·感覚	指導員の動きや他者の行動の理解と模倣(指・身体の動き)の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 音を感じ音楽に合わせて身体を動かす課題 身体全体で揺れを感じたり、手指や肌の触覚を味わう課題	能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等) に合わせて身体を動かす課題 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)		
本人支援	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)	物の概念(長さ・大きさ)の理解に関わる活動(どっちが大きいかな?、長さ比べ等) 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題	文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 意思表示の言語と選択のための活動(はい・いいえ・どちらでもない等)		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題	自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 他者と自分の関係性や距離感の理解のための活動(パーソナルスペース、プライベートゾーン) 複数の利用者同士の適切な関わりの理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした 内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応し ていることを家庭でも取り組めるように共有していく。 家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組 み、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。	当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、常で実践できるように支取り組むことで、利用者に対 今できるようになっておきたい事、将来できるようになっておきたい事、将来できるようになっておきたい事業所と情報共有し、事業所での支援内容を園や他事業所と情報共有し、する。	すする支援の統一を図る。	
ţ	也域支援·地域連携	園とご家庭での課題が違う場合、原因について検討・共有・新たな支援を提案する役割を担う ことで、それぞれの環境での適切な対応、また出来る範囲で統一された対応を促し、利用者の 成長に繋げる。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携 していく。	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待限実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の第		
主な行事等 避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(公園散歩、買い物)、調理活動(ハンバーガー作り、パンケーキ作り)、保護者会、その他					